

福井県感染症発生動向調査速報

＜＜令和3年＞＞

＜週報＞ 第21週（令和3年5月24日～5月30日）

発行日：令和3年6月2日

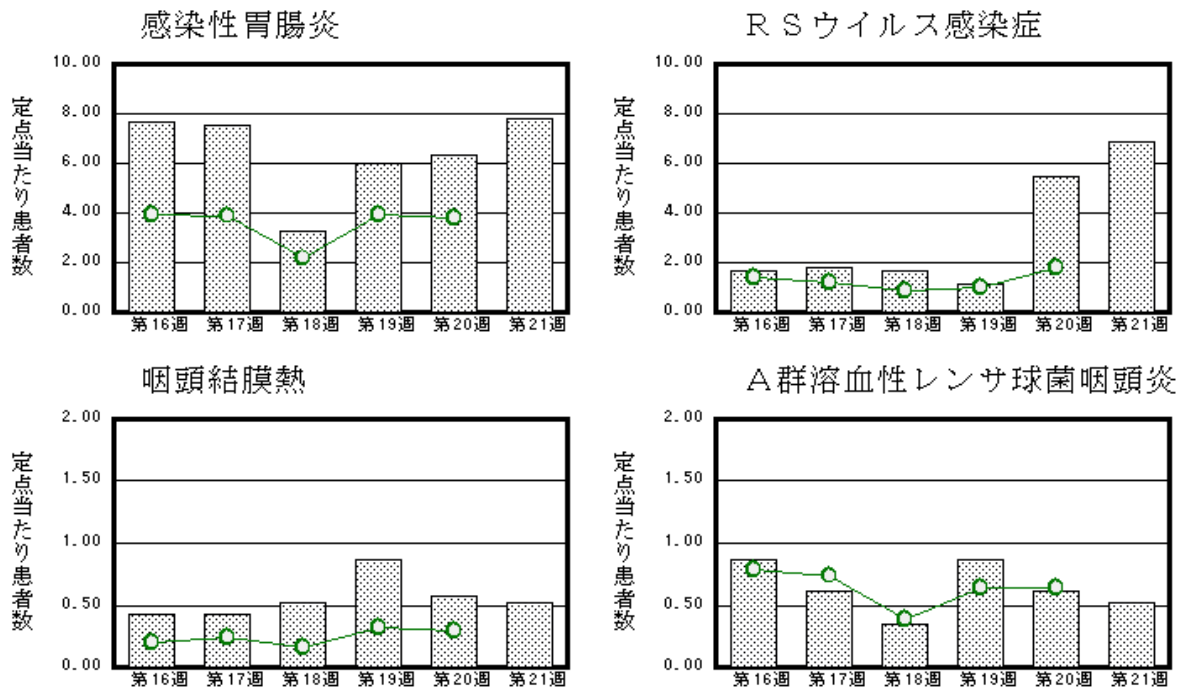
発行：福井県健康福祉部保健予防課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

◆注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】①感染性胃腸炎180名(7.83名) ②RSウイルス感染症158名(6.87名) ③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎12名(0.52名)、咽頭結膜熱12名(0.52名) ④突発性発しん8名(0.35名) ⑤細菌性髄膜炎2名(0.33名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎(180名) ②RSウイルス感染症(158名) ③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(12名)、咽頭結膜熱(12名) ④突発性発しん(8名) ⑤細菌性髄膜炎(2名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は180名です。定点当たり報告数は増加しました(6.35名→7.83名)。地域別にみると、二州地区31.00名、福井市地区7.43名、丹南地区4.00名、若狭地区3.50名、坂井地区2.67名の順となっています。
- 【RSウイルス感染症】報告数は158名です。定点当たり報告数は増加しました(5.48名→6.87名)。地域別にみると、福井市地区12.86名、坂井地区8.00名、丹南地区7.80名、奥越地区2.50名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は12名です。定点当たり報告数は減少しました(0.61名→0.52名)。地域別にみると、坂井地区0.67名、二州地区0.67名、丹南地区0.60名、福井市地区0.57名、若狭地区0.50名の順となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数は12名です。定点当たり報告数は減少しました(0.57名→0.52名)。地域別にみると、丹南地区1.00名、二州地区1.00名、奥越地区0.50名、坂井地区0.33名、福井市地区0.29名の順となっています。



※ 棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

◆感染症週報全国版の要点

2021年第19週(5月10日～5月16日)

発生動向総覧	＜第19週＞RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した
注目すべき感染症	＜直近の新型コロナウイルス感染症の状況＞ 3月以降、増加傾向であった、新型コロナウイルス感染症による全国の入院治療等を要する者の数は、5月16日以降は減少した(5月21日0時現在)
感染症関連情報	国内におけるSARS-CoV-2のゲノム解析／国立感染症研究所および地方衛生研究所等における全ゲノム解析により確認され感染症関連情報 たVOC、VOI／病原体情報／海外感染症情報／その他
速報	＜今週は該当記事はありません＞

※ 詳細は国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

◆全数届出の感染症(福井県)

一類感染症：報告はありませんでした。
 二類感染症：報告はありませんでした。（なお、結核は第20週に福井市1名の報告がありました。）
 三類感染症：報告はありませんでした。
 四類感染症：レジオネラ症（坂井1名）の報告がありました。
 五類感染症全数把握対象：梅毒（福井市1名）の報告がありました。
 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症（福井市2名、福井1名、坂井2名、丹南6名、二州2名、若狭2名、県外在住2名）の報告がありました。

類型	病名	年齢						
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上
四類	レジオネラ症							1
五類	梅毒			1				
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1	6	2	3	2	1	2

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 令和3年 第21週 令和3年5月24日(月)～令和3年5月30日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井市	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計	前週	全国(20週)
インフルエンザ* (37)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)										8 0.00
小児科 (23)	RSウイルス感染症	90 12.86		24 8.00	5 2.50	39 7.80			158 6.87	126 5.48	5735 1.82
	咽頭結膜熱	2 0.29		1 0.33	1 0.50	5 1.00	3 1.00		12 0.52	13 0.57	922 0.29
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 0.57		2 0.67		3 0.60	2 0.67	1 0.50	12 0.52	14 0.61	2009 0.64
	感染性胃腸炎	52 7.43		8 2.67		20 4.00	93 31.00	7 3.50	180 7.83	146 6.35	11931 3.79
	水痘									6 0.26	363 0.12
	手足口病									1 0.04	244 0.08
	伝染性紅斑										57 0.02
	突発性発しん			1 0.33	1 0.50	3 0.60	1 0.33	2 1.00	8 0.35	9 0.39	1404 0.45
	ヘルパンギーナ	1 0.14							1 0.04	1 0.04	232 0.07
	流行性耳下腺炎										169 0.05
眼科 (3)	急性出血性結膜炎		*	*	*		*	*			4 0.01
	流行性角結膜炎										145 0.21
基幹 (6)	細菌性髄膜炎	2 1.00							2 0.33		8 0.02
	無菌性髄膜炎										15 0.03
	マイコプラズマ肺炎		*	*							16 0.03
	クラミア肺炎(オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)										3 0.01
	インフルエンザ(入院患者数)										※1

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

*欄には定点はありません

細字は定点当たり患者数

※1は、2020/2021シーズンの全国の集計は第9週で終了いたしました。

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

令和3年第21週 令和3年5月24日(月)～令和3年5月30日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルペ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	感染性胃 腸炎(ロタ ウイルス)	インフル エンザ(入 院患者 数)	
～5ヶ月		～5ヶ月	7										～5ヶ月									
～11ヶ月		～11ヶ月	16			9				3			～11ヶ月									
1歳		1歳	44	7	1	35				4			1歳									
2歳		2歳	46	2	1	35				1			2歳									
3歳		3歳	28	1	3	23							3歳									
4歳		4歳	10	1	4	19					1		4歳									
5歳		5歳	6		2	17							5歳									
6歳		6歳				4							6歳									
7歳		7歳			1	11							7歳									
8歳		8歳				3							8歳									
9歳		9歳		1		6							9歳									
10～14歳		10～14歳	1			12							10～14歳									
15～19歳		15～19歳				2							15～19歳									
20～29歳		20歳以上				4							20～29歳									
30～39歳													30～39歳									
40～49歳													40～49歳									
50～59歳													50～59歳									
60～69歳													60～69歳			2						
70～79歳													70歳以上									
80歳以上																						
合 計		合 計	158	12	12	180				8	1		合 計			2						
前期計		前期計	126	13	14	146	6	1		9	1		前期計									
当期間/前期	***	当期間/前期	1.25	0.92	0.86	1.23			***	0.89	1	***	当期間/前期	***	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数		増減数	32	-1	-2	34	-6	-1		-1			増減数			2						

***は前期計が"0"のとき